

08
2024

Hiroshima Center Rotary Club

Monthly Magazine

vol. 14



2024.8.6 「平和祈念式典参列者おもてなし事業」

広島中央 ロータリークラブ

活動記録：2024年8月のまとめ

2024/8/5

第2028回例会

場所

リーガロイヤルホテル広島

本日のプログラム

クラブフォーラム「会員増強について」

卓話者

会員増強・職業分類委員長 新宮且識 会員

担当委員会

会員組織委員会

ゲスト

李 道宇さん（米山奨学生）

祝事等

- ・会員誕生日（8名）榎殿 淀江 大田 光村
西川(公) 神保 戸田 小林
- ・配偶者誕生日（4名）平瀬 赤羽 古澤 福田

会長時間

「原爆と竹内釵さん」

みなさん、こんにちは。

今日から木内良明様が正式に会員になられます。後ほど入会式を行いますので、よろしくお願いします。

さて、8月のテーマは「会員増強」となっております。後ほどの会員増強・職業分類委員会の新宮委員長から「会員増強について」のクラブフォーラムを行っていただきます。

明日8月6日は広島の「原爆の日」です。奉仕プロジェクト委員会が中心となって、平和記念式典参列者へのおもてなし事業を本川公園にて行います。ご参加される方は、ご自身の暑さ対策を行いながら、ご参加をお願いします。

さて、広島の「原爆の日」にちなんだ話題を一つ提供させていただきます。昭和14年に広島赤十字病院の外科の軍医として赴任され、8月6日の原爆投下時にも院長として重要な役割を果たされました竹内釵（けん）氏のお話です。

彼はその日、自らも被爆し7箇所骨折で重傷を負いながらも、多くの被爆者の治療を続けられました。また、戦後も昭

事務局

例会日：毎週月曜 12:30～13:30
例会場：リーガロイヤルホテル広島
広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL：082-221-4894
FAX：082-221-4870
E-mail：hcrc@godorc.gr.jp
URL：https://hcrc.gr.jp/



和23年末まで広島に残り、広島赤十字病院の再建にご尽力されました。彼は被爆者としての体験をほとんど語ることはなかったものの、彼の行動は多くの人々に影響を与え、平和運動にも貢献しておられます。竹内釵氏のお孫さんの竹内道さんは、彼の遺志を継ぎ、特に米国での平和活動と核兵器の非人道性を訴える活動を行っておられます。竹内釵氏の生涯と彼の遺した精神は、広島の平和運動において重要な役割を持ち続けており、我々ロータリーの目指す世界平和を理解する上で役立つのではないかと思います。



○入会式（木内 良明君）

- *会長より四つのテスト・バッチ・花束贈呈
- *推薦者より紹介と新会員の挨拶

クラブフォーラム「会員増強について」

卓話内容はホームページに
掲載しております



場所

リーガロイヤルホテル広島

本日のプログラム

ゲスト卓話「新NISAについて」

卓話者

広島中央ロータリークラブ幹事 原 郁哉 様

担当委員会

プログラム

祝事等

- ・連続出席表彰（8名）
杉本 黒瀬 砂田 西川(公) 西井 加藤 高蓋
- ・結婚記念日（1名）福田

会長時間

「ライオンズクラブとロータリークラブ」

みなさん、こんにちは。

8月6日には人間尊重・社会奉仕委員会を中心に、平和記念式典参加者に対するおもてなし事業を開催いたしました。暑い中、平和記念式典に参加された国内外の多くの方々に冷たいお茶とかき氷を召し上がっていただきました。23名の会員と2名のロータリークラブの方々に参加頂きましたこと、そして毎年この奉仕事業のためにご尽力いただいております山野井会員に、心より御礼申し上げます。

本日の例会では、ゲスト卓話として広島中央ロータリークラブ幹事の原郁哉様にお越しいただき、「新NISAについて」の卓話をいただきます。原様、よろしくお願いします。

さて、8月は国際ロータリーの「会員増強」の特別月間です。会員増強を進めていくうえでご参考になるかどうかはわかりませんが、本日はライオンズクラブについてお話しします。

ライオンズクラブの正式名称は“ライオンズクラブ国際協会”で、世界中で奉仕活動を行う国際的な非営利団体です。1917年にアメリカ合衆国イリノイ州でメルヴィン・ジョーンズ氏によって設立されました。因みに、メルヴィン・ジョーンズ氏はテキサス州ダラス・ロータリークラブの元会員でした。(ライオンズクラブのサイトによれば)現在では全世界で4万9,000のクラブと140万人を超える会員がおられます。

ライオンズクラブのスローガンは “Liberty, Intelligence, Our Nations Safety” で、その頭文字を合わせると “LIONS” となります。日本語に訳しますと “自由を守り、知性を重んじ、我々の国家の安全をはかる” ということになります。

ライオンズクラブのモットーは「We Serve(我々は奉仕する)」で、主な奉仕活動としては、視覚障害者の支援を主な活動領域としながら、環境保護、飢餓の撲滅、青少年の支

援といった広範な社会問題に取り組んでいます。また、地域社会のニーズに応じた活動も盛んで、地元の学校や病院への支援、災害時の支援活動も重要な役割を果たしています。

ライオンズクラブの例会は、通常月に1～2回程度行われ、クラブの活動報告や今後の計画、奉仕活動の進捗状況などが話し合われます。地域によっては特別なイベントやゲストスピーカーを招くこともあります。

ライオンズクラブは、新しい会員を積極的に勧誘しています。会員勧誘の方法としては、地域での奉仕活動やイベントを通じてライオンズクラブの活動を知ってもらい、興味を持った人々を招待することが一般的です。また、既存の会員からの紹介も重要な勧誘方法の一つです。

ライオンズクラブは、性別や年齢に関係なく、幅広い人々が参加できることを目指しています。特に近年では、女性や若者の会員勧誘に力を入れています。女性や若者が参加することで、クラブの活動に新しい視点やエネルギーがもたらされ、多様性が豊かになります。若者向けには「レオクラブ」と呼ばれる青年部もあり、若い世代がリーダーシップや奉仕の精神を育む場となっています。

ライオンズクラブもロータリークラブも、日本をはじめ世界において大きな影響力を持っている奉仕団体であり、どちらが優れているかなどと議論する気は毛頭ございません。むしろ、両者が協調的であることが社会全体にとって重要であると私は考えております。皆様のご理解を深めるためにライオンズクラブについて述べさせていただきます。

○ポール・ハリス・フェロー表彰(平瀬会員・政岡会員)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー2回目(赤羽会員・吉清会員)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー3回目(原田会員)

ゲスト卓話「新NISAについて」



卓話者:広島中央RAC 原 幹事

場所

リーガロイヤルホテル広島

本日のプログラム

ガバナー卓話「ガバナー公式訪問」

卓話者

RI第2710地区ガバナー 上田 文雄 様

担当委員会

会長・幹事

ゲスト

(随行幹事)国際ローター-第2710地区代表幹事

伊藤 進吾 様

国際ローター-第2710地区グループ 7 ガバナー補佐

佐藤 二郎 様

国際ローター-第2710地区グループ 7 ガバナー補佐幹事

杉本 清英 様

祝事等

・入会月（8名）

杉本 上原 土肥 山肩 砂田 西川公 高蓋
加藤

・創業月（6名）

田中 小佐古 平瀬 大坂 淀江 頼岡

会長時間

五大奉仕部門と「社会奉仕に関する1923年の声明」について

皆さん、こんにちは。

本日は国際ローター-第2710地区ガバナー 上田文雄様、地区代表幹事 伊藤進吾様、グループ 7 ガバナー補佐 佐藤二郎様、ガバナー補佐幹事 杉本清英様にお越し頂いております。ようこそ、広島中央ロータークラブの例会にお越しくださいました。クラブ会員一同、心より歓迎申し上げます。

また、広島北ロータークラブの野口隆志様、ようこそ広島中央ロータークラブにお越しくださいました。例会をお楽しみください。

さて、8月19日には、新入会員の木内会員をお迎えして「ファイヤーサイド・ミーティング」を行い、楽しい時間を過ごさせていただきました。会員組織委員会の下原理事、ローター情報委員会の長場委員長、そして木内会員を始めご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

ファイヤーサイド・ミーティングでは主に「奉仕」と「親睦」について説明しますので、本日は、会員の皆様の復習の意味も含めて、ロータークラブの五大奉仕部門と「社会奉仕に関する1923年の声明」についてお話しします。

五大奉仕部門とは、ロータークラブが活動する上での基本的な枠組みであり、それぞれが異なる視点から奉仕活動を支えています。

五大奉仕には、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、そして青少年奉仕があります。

それぞれの奉仕の内容につきましては、時間の関係ここでは説明いたしません、「社会奉仕」につきまして少し説明させていただきます。

「ローターの手続要覧」には「社会奉仕に関する1923年の声明」が出てまいります。これは1910年代に、社会奉仕の機運が高まる時代背景の中で、“ロータークラブがクラブ全体として社会奉仕活動を行うか否か”ということで議論になりました。職業奉仕を支持するグループは、“本来ロータークラブは職業奉仕のための団体であり、会員の職業上の貢献によって社会全体が幸福になれば、それで社会への奉仕になる”と主張しました。一方、社会奉仕を支持するグループは、“直接的な行動が即座の結果と地域社会への明確な貢献をもたらす”と主張しました。先週お話しした元ダラス・ロータークラブのメルヴィン・ジョーンズ氏がロータークラブを退会し、1917年にライオンズクラブを立ち上げたのはこのような経緯があります。

この論争は、最終的には“職業奉仕と社会奉仕の両方の奉仕がロータークラブの使命に不可欠である”という認識に基づいて解決されました。手続要覧に載っておりますので、お手隙の時に読みいただきたいと思いますが、私なりに要約しますと、“ロータークラブは理論だけではなく、行動の哲学であり、それは自己の利己的欲求と他者への奉仕精神の間に絶えず生ずる葛藤を調和させようとする人生哲学である”としています。この哲学に基づいて、“各クラブの奉仕活動には自主独立性が認められ、各クラブは他のクラブの活動を軽視することなく、同時に、ロータークラブは、会員個人として、また、団体として社会奉仕活動を行ってもよい”という原則が確立されました。

「社会奉仕に関する1923年の声明」は、ロータリアンが日々の生活に奉仕の理念を取り入れ、地域社会や国際社会で貢献するための基本的な指針となっています。



ガバナー公式訪問

平和祈念式典参列者おもてなし事業

日時 2024年8月6日(火) 8:30~9:50

場所 本川公園(中区猫屋町6番)

出席者 広島中央RC会員23名 広島中央RAC会員2名

議題又は目的

2024年8月6日に被爆79年目を迎え、今年も参列者へのおもてなし事業を実施しました。新型コロナ感染時の平和祈念式典では参加者の人数制限、公園への入園規制がありましたでしたが、3年前から平和祈念式典開催に特別の制限がなくなり、通常通りの開催要領で城本会長ほかRC会員およびRAC会員の参加をいただきました。当日は、朝8時前から会員の方々が集まり始め、原爆投下時間の8時15分には10数名の参加者に達し、全員で黙とうを捧げました。朝8時25分ごろからおもてなし活動を開始しましたが、晴天ですでに30℃を超える暑い環境でしたが、立ち寄って下さる方も多く“お茶とかき氷”のおもてなしに大変喜んでいただきました。9時30分過ぎには一応活動終了宣言をしましたが、その後もバラバラと立ち寄る方が止まりませんでした。

一昨年の安倍元首相狙撃事件、昨年のG7サミットを経て、岸田首相の参加もあることから年々公園への入場制限、警備が厳しくなる感じでした。特に公園内への入場については、今回初めて入園関門数の制限、厳しい持ちものチェックなどが実施されていました。

当日は城本会長、奉仕プロジェクト委員会古澤理事をはじめ、23名の会員の皆様に参加をいただきました。さらに広島中央ローターアクトクラブからも2名の会員にも参加いただいたこと大変感謝しています。

署名 人間尊重・社会奉仕委員長 児玉 哲郎



戦略計画委員会 委員会報告

日時 2024年8月5日(月)18:30～
場所 リーガロイヤルホテル33階リーガトップ
出席者 田原、城本、藤村、吉川恵、三宅、山野井(6名)



協議事項

①ホームページの活用について

現在ホームページに会報誌をダウンロード出来るようになっており、クラブの活動が分かり易くなったこと、また、必要部数はペーパーにて配布することとなり非常に良くなったと思います。引き続きホームページを充実させていきたい。

②中期的計画について

創立50周年に向けてクラブ会員増強を掲げ、目標80名を目指して会員の意識を高める。同好会活動や同じ趣味仲間といった人にロータリーを知ってもらい会員増強に努める。

③中長期的事業目標として

グローバル補助金に中長期的なビジョンを描き、ロータリーの5大奉仕にあった内容で活動することを目指す。特に、広島市と連携した障害児支援対策を検討する。

④「人生100年時代に向けて健康寿命を延ばそう」に向けて

会員自身が健康に対する意識を日ごろから高め、暴飲暴食を避け、健康診断を受ける。尚且つストレスを溜めない為に息抜き出来る趣味を作る。趣味を生かした同好会を増やすなどして、仲間と楽しむ場を提供する。

ファイアースイドミーティング 報告書

日時 2024年8月19日(月)18:30～
場所 グランヴィア広島2階
出席者 城本会長、下原副会長、西井幹事、田原会員、榎殿会員、長場ロータリー情報委員長、木内会員(7名)
対象新入会員：木内会員

検討事項

- 1 会長挨拶
- 2 レクチャー
「新入会員のためのロータリークラブの「親睦」と「奉仕」入門」に基づく説明。内容は以下のとおり。
 - (1)クラブ奉仕(クラブ奉仕、例会)
 - (2)ロータリーの誕生と二本柱
 - (3)ロータリーの親睦(親睦の概念、親睦と親睦活動)
 - (4)ロータリーの奉仕(奉仕理念、職業奉仕、4つのテスト、人道的奉仕活動)
 - (5)ロータリー財団(財団の誕生、プログラム、寄付、当クラブのこれまでの活動)
- 3 ロータリー財団奨学生(小田佳代さんの紹介)
- 4 パストガバナーによるクラブ歴史の説明